

からから 便り

もくじ

- 縁と縁の道をゆく [石狩—当別編]
- 思いを踊りに… 道内各地に伝わる民俗芸能
- 学費等の支援が必要になった学生、保護者のみなさんへ
- 寄稿「1ページのたより」
- 北海道における被災避難者の受入状況
- 編集後記



「伊達邦直主従北海道移住の地」
この碑を建立したのはかつての当別町長 伊達寿之氏。名前の通り、伊達邦直のひ孫にあたり、伊達政宗直系の子孫です。その縁で玉造郡岩出山町（現：大崎市）と姉妹都市提携をしています。

昨年、映画「大地の侍」(原作：小説「石狩川」)を上映したことをきっかけに、6月の晴れた日、仙台藩・岩出山伊達家にゆかりのある、石狩市と当別町を訪れました。

戊辰戦争に敗れ、領地を没収された仙台藩岩出山伊達家当主 伊達邦直は、藩士たちとともに生きるため、1871年に開拓民として北海道へやってきます。最初に明治政府から与えられたのは、海に近い石狩市厚田区



「石狩—当別編」



今年工場に併設してオープンした ROYCE' CACAO & CHOCOLATE TOWN
直売店のほか年内には工場見学施設もできる予定。



工場の一角に、「本庄陸男生誕の地」をしるす石碑がある。

豊富。海風の厳しいこの地の開拓は困難を極め、「このままでは生きていけない」と新天地を探し、たどり着いたのが当別の地です。

この、岩出山伊達家の開拓史を小説「石狩川」にのこしたのが作家・本庄陸男です。本庄陸男は当別町で生まれ、自身は佐賀藩士の子孫です。

当別町といえば3月にJR「ロイズタウン駅」の開業でも話題になった町。1999年にチヨコレイトで有名なロイズコンフェクトの工場ができましたが、かつてその敷地の一角に、本庄陸男の生家がありました。

最後に、「道の駅とうべつ」で見つけたソフトクリーム、その名も「だて牛乳ソフト」をご紹介します。伊達家のつながりで歴史兄弟都市となっている北海道伊達市の濃厚な牛乳で作ったソフトクリームに、当別町小麦と玄米を使った三日月兜のクッキーがトッピングされています。濃厚ソフトに塩味のクッキーがよく合います。

それにしても、
「このクッキー、
もしかや『むすび丸』じゃ…」と思
ったのは、私だけ
ではないはず…。



(上)「道の駅とうべつ」のカラーマンホール。ペイントかと思ったら、ブリントシートでした。
(下)当別駅前で見かけたマンホール。「おすい」と「うすい」バージョンがありました。



伊達家によって拓けた当別町、マンホールにも伊達邦直の勇ましい姿が描かれています。兜は伊達政宗と同じ日月です。「道の駅とうべつ」へ行くカラーのマンホールがあり、マニアックなマンホールカードの配布もしています。

思いを踊りに...

道内各地に伝わる民俗芸能



少し肌寒い日が多かった6月が終わり、いよいよ夏がやってきます。この2年間、コロナ禍で中止になった各地のイベントが再開し、今年は夏の風物詩、花火大会やお祭り、盆踊りが楽しめそうです。お祭りでは、地域に伝わる民俗芸能が披露されることがありますが、北海道では全国各地からの入植者たちが、故郷を懐かしみ演じた神楽や踊りが今に引き継がれています。その中から厚真町の「幌内神楽」とえりも町の「えりも駒踊り」をご紹介します。

▶厚真町 幌内神楽

岩手県花巻市からの入植者により伝えられた神楽。明治43年、幌内神社に獅子頭が奉納され、一時期途絶えたこともありましたが、昭和47年、個人宅から神楽に使うほら貝が見つかったことをきっかけに、町内から5名が岩手県花巻市へ神楽の研修に赴き、復活したそうです。厚真町のお祭り「あつま田舎まつり」の会場で、毎年披露されています。

あつま田舎まつり

場所：厚真町表町公園

7月30日（土）13時～20時30分

7月31日（日）9時～15時

※幌内神楽は、31日（日）午前中に公演予定



参考資料：北海道教育委員会 HP より「北海道の民俗芸能一覧」
北海道えりも町 郷土資料館「ほろいずみ」・水産の館 HP より〈民俗芸能「えりも駒踊り」〉

▶えりも町 えりも駒踊り

岩手県宮古市田老や青森県八戸市などからの入植者が故郷を懐かしみ、南部駒踊り（青森県南部地方の民俗舞踊）を参考に創作した踊りが、えりも駒踊りです。岩手県宮古市に伝わる黒森神楽（国指定・無形民俗文化財）の影響も受けている、とも考えられていることから、民俗文化がミックスされたものかもしれません。えりも町で行われる、えりもの灯台まつり（8月14日）、住吉神社の秋の例大祭（9月18日）、えりも海と山の幸フェスティバル（10月2日）、で披露され、例大祭では神輿に続く賑やかな行列になるそうです。

地名や料理のほかに、民俗芸能の中にも先人の思いが刻まれていることを改めて感じます。

【公立高校】

○高等学校等就学支援金

国が公立高校等の授業料負担を軽減する制度

○北海道公立高校生等奨学給付金

北海道教育委員会が授業料以外の教育費負担を軽減するため、高校生等がいる非課税世帯に対し給付金を支給する制度

お問い合わせ先

通っている学校又は北海道教育庁学校教育局高校教育課学校制度係

【電話】 011-204-5760

【HP アドレス】 <https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/kki/>

【私立高校】

○高等学校等就学支援金

国が私立高校等の月々の授業料負担を、世帯の所得に応じて段階的に軽減する制度

○私立高等学校等授業料軽減制度

北海道が私立高校等の月々の授業料等の負担を、世帯の所得に応じて段階的に軽減する制度

○奨学のための給付金（高校生等奨学給付金）制度

北海道が授業料以外の教育費負担を軽減するため、高校生等がいる非課税世帯または生活保護世帯に対し給付金を支給する制度

お問い合わせ先

通っている学校又は北海道総務部教育・法人局学事課修学支援係

【電話】 011-204-5066

【HP アドレス】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/gkj/>

※詳細は各お問合せ先にご連絡、またはHPをご確認ください。

公立または私立の高等学校等及び高等学校等専攻科に通う高校生等が安心して教育を受けられるよう、次の支援制度があります。

学費等の支援が必要になった学生、保護者のみなさんへ





寄稿 / ページのたより

私にとって昨年はどう底の年でした。いろんなことが重なって、これでもかというほど追い討ちをかけてくるなあと。

次々と試練がやって来る。

避難してからというもの、生活を立て直すために必死で生きてきて、何とか子どもたちを自立させることができましたが、避難した当初は、一日一日を生き抜いている、そんな感じでした。あれからもう10年以上が過ぎたんだな、と思って、ふと自分の人生を振り返った時、歳だけをとって何も残っていない虚しさを感しました。

前向きに考えようと努力しても、原発事故で失ったものは大きすぎます。

でも、もうずいぶん苦しんできたのだから、そろそろ肩の荷を下ろしてこれからは気楽に生きて行こうかな、と考えはじめていました。

ところがコロナの大流行で、私の経営する美容室にも影響が出て、売上が激減してしまっただです。今までずっと美容師をやってきて、経験したことがない状況にまで落ちたので、不安で不安で仕方ありませんでした。

ものすぶく店が暇になったかと思

うと、自粛が解除され今度は急に忙しくなり、落ちた収入を取り戻そうと無理をしたせいで首を痛めてしまい、そこから自律神経失調症になりました。

昨年の2月には発作が起きて呼吸が出来なくなり、初めて救急車に4回も乗っかかりました。3月には、福島にいる母親がくも膜下出血で倒れてしまい、大手術を3回もしたのですが、面会に行きたくてもコロナと自分の体調不良で思うように動けず、本当に歯がゆい思いをしました。こんな時にも簡単に会えないんだな。原発事故がなかったら母親のそばにいられたのに、と悔しかったです。

私の方は、行く先々の病院で検査をしても、どこも悪くないと言われ、あちこちの病院を回りましたが、結

局は更年期ということに落ち着きました。発作を起こしながらでも仕事をしないと店が潰れちゃうので、一時は鬱になりそうでしたが、生活習慣や頑張り過ぎる性分などを変えて、今は少しずつ良くなってきています。

私は何か大変なことが起きた時に、いつも心の中で、「私は負けねえ!」って自分自身にはっぱをかけるんですけど、そうすると力がみなぎってきてまた頑張れるんですね。

福島から飛行機に乗って連れてきた愛犬が、今年のお正月から寝たきりになり、家族みんなで協力してオムツも使いながら介護してきたのですが、4月に眠るように亡くなりました。17歳の犬往生でした。原発事故の時、外飼いで被爆したから長く生きられないかな、と思っ

ていたのですが、本当に頑張ってきたのですが、本当に頑張ってきたのですが、愛犬の形見の首輪でキーホルダーを作ってもらって、家族みんなで長寿のお守りとして持っています。

猫も一匹いるのですが、今年12歳でまだまだ元気です。愛犬の分まで可愛がっているせいか、ますます甘えん坊になりました。

私も体調を良くして福島の両親に会いに行きたいし、仕事も初心に戻ってがんばりはじめました。趣味の音楽も楽しんで、コロナ以来はまった韓国ドラマを観て癒されたり、頭を空っぽにする時間をつくったり。

これからは、今まで生きるだけで精一杯で出来なかった友達を、札幌でもつくっていききたい、とやっと思えるようになりました。(ペンネーム じゅんぺー)

色々あってもなんとかなるさ!



自分のペースで、楽しみながら、一歩ずつ!

